

【2026年度 森づくり団体 助成団体一覧】

| 高額助成 2団体 | 活動地域 | 活動内容 |
|-------------|------|--|
| かしわの森とこどもの会 | 浦河町 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的:・かしわの森で子どもたちが安心して遊び学べる環境を整える。 ・森の循環を学べる「雨水利用」や「コンポストトイレ」を体験教育に活かす。 <p>様々な助成金を通し活動の主体である「かしわの森」の整備やイベントによる自然体験活動を進めてきたが、活動時にトイレや水場がないため一旦森を離れて隣接する幼稚園などの施設を利用してきた。幼児や小学生が参加することが多いため今後の活動をよりスムーズに行えるよう必要と感じた。</p> |
| NPO法人 森のころね | 苫小牧市 | <p>○認可外保育施設 森のころねようちえん ○親子の自然体験活動 森のようちえん親子組わっこ ○放課後自然体験活動 ネイチャーキッズ ○地域開放 森のあそびば・厚真プレーパーク ○特性のある子を持つ保護者コミュニティ フラワーパレット ○自然素材を使ったクラフト販売、ワークショップ クラフト手しごと部 ○森の整備・保全活動 こころねの森づくりの会</p> <p>子ども、保護者、そして子どもの育ちに関わる全ての人を対象に主に苫小牧市、厚真町の豊かな自然を活かした様々な情報を通して、あたたかいふれあい、繋がりの中で、一人ひとりが自分らしくありのままに、子どもも大人も共に育ちあえる社会の実現に寄与することを目的とする。</p> <p>法人名のころねとは「こころの根っこ」をあらわし、たくさんの親子が交わりの中でこころの根っこを育て、こころの拠り所であることを願い名付けられた。</p> |

| 小額助成 18団体 | 所在地 | 活動内容 |
|-------------------|-----|--|
| 旭山自然調査隊 | 札幌市 | 希少種を守るため繁殖地を守ります。里山的環境や水辺環境を守る活動を行います。合わせて外来種やアレロパシーのある植物を取り除く活動など生物多様性を守る活動を行います。保全活動と体験型自然観察会、調査活動を連動し計画的に継続して活動を行います。また、その内容を広くお知らせし活動の輪を広げ、生物多様性を保つことの重要性や希少種保護について啓発・広報を行います。 |
| 手稲さと川探検隊 | 札幌市 | 手稲山を拠点に親子で身近な自然が周囲に豊かにあることを感じ、楽しめるようなプログラムの企画実施を行い、単に知識だけではなく、森や川、生きものと人とながりを五感を通して感じるような活動をめざす。 |
| 当別森林ボランティア「シラカンバ」 | 当別町 | 町内の自然を見つめ直し、森と親しむ機会を増やせればとの思いで、当別町在所の森林地を拠点に森の育成保 |

| | | |
|-----------------|------|--|
| | | 全、その他自然環境の保全等森づくりに取り組むとともに活動を通じて仲間との絆を深め、自然との共生や森を守る知識や技術を習得することを目的として設立。 |
| ようてい木育倶楽部 | 札幌市 | 活動概要拠点である「かしわの森」の整備の推進と森林保全、地域の活性化、そして、得に子どもの心身の健康増進を図ることを目的として一部の森の所有法人の幼稚園の職員と、その他の森の所有者が近隣の方々と会を結成し活動しています。地域の人や子ども達が自由に自然体験できる場所（森）づくりを行っています。 子ども達や地域の人たちに、森林保護、植樹、育樹などの大切さを伝えながら、自由に木や自然に触れ合うことのできる居場所づくりを地域の人たちや子どもたちを巻き込み「みんなで作っていく森」を目指しています。 |
| 積丹グリーン | 積丹町 | 積丹グリーンは代表の森田が林業をライフワークにしたいと志し、設立したメンバー4名の任意団体です。代表森田信道、松田義博、運野淳、森田千明の4名が正規メンバーとなっています。2021年より林野庁の「森林・山村多面的機能発揮交付金」を資金として積丹町野塚の森林（21ha）にて保全活動、薪、ホダギ、クラフトなどの製造のほか、月1回程度のイベントを実施しています。活動の目的は持続可能な林業事業と誰もが気軽に訪問できる安全で魅力的な山づくりです。 |
| 旭川森林ボランティア倶楽部 | 旭川市 | 道民と北海道との協働による森林づくりを進めるため、道有林やその他の森林をフィールドとして、森林整備ほかのボランティア活動を行うことを目的とする。 |
| 沼田どってこどってこ | 沼田町 | 地域の山林において、ふと訪れたいような安全で美しい森を目指して、道づくり・間伐、下草刈り等をおこなうとともに、森林体験活動を実施することで、人と自然のつながりを増やすことを目的としています。近年の気候変動への対応として、CO2 吸収増大や、水源涵養、生物多様性の維持などの多面的機能を意識した森づくりの方法を検証し、イベントやSNS で情報発信することも活動の一貫として行う予定です。 |
| フォレストクリエイティブタック | 当麻町 | 北海道の身近なフィールドで活動し、障がいを持った方々と森を整備すること、活用することで、後世に持続可能な環境を残していくことを狙いとする。 |
| えりも森の歩人 | えりも町 | えりも町には、1953 年に始まったえりも岬百人浜緑化事業が 70 年以上にわたり継続され、海岸林が復元し、コンブなどの水産資源が回復してきた歴史があります。当会の活動地は、日高山脈襟裳十勝国立公園内に在し、かつて樹木が伐採され、その後、ミズナラやヤチダモが植樹されたもののエゾシカによる食害、オオハンゴンソウやオオアワダチソウなど外来植物の繁茂が広葉樹林の復元を妨げている状況です。 当会は活動地を自然林に戻す取組を行い、敷地内の小河川も活用し、子供から大人までが森の自然を楽しみ、森林の機能、森・川・海のつながり、林産物など森林の多面的機能について学べる場として整備し、活用に取り組んでいます。 |
| 魁！自然塾 | 恵庭市 | 木育や環境教育を通して、人をつなぎ、地域をつなぎ、人が育ちあえる活動を実施し、地域で育った子どもが、大人になり、地域で活躍し、またその子どもが、地域で育つ世代の循環（ジェネレーションサイクル）の実現を |

| | | |
|-----------------------------|-----|---|
| | | 目指します。 |
| 北海道文教大学自然体験活動ボランティアサークル つむぎ | 千歳市 | <p>【背景】 自然体験活動や幼児児童向けイベントへ学生ボランティアとして参加し、子どもたちと関わる中で「大学で学ぶこと以外に、たくさんの学びや発見がある」ことに気づき、有志3人で2022年に発足。</p> <p>【目的】 1自分たちの将来(保育士、教員等)を見据え、もっと子どもたちと関わる機会を増やし、現場教育を学ぶ。活動の企画をする。 2屋外、自然の中で遊ぶ喜びや発見、学びを子どもたちと共有し、一緒に楽しむ。</p> |
| お母ちゃんラボ | 室蘭市 | <p>現代の子どもたちは自然の中で自由に遊び、創造力を育む機会が減少しています。「お母ちゃんラボ」は、子育て中のお母さんたちが力を発揮できる場をつくり、子どもたちが自然に触れ、遊びや学びを深められる環境を整えることを目的としています。室蘭市新富町の「ひつじひろば」を拠点に、特別な遊具に頼らず、木や花、風や鳥の声、土や水など自然そのものを価値として受けとめ、探求や創造を楽しめる場を提供します。地域住民も関わることで、親子と地域がつながる「ひらかれた居場所」として育て、北海道の森づくりや地域社会の豊かな未来に貢献します。</p> |
| 地球岬街道夢の森づくりの会 | 室蘭市 | <p>室蘭の誇る景勝地、地球岬の観光道路沿いの一角に室蘭市のごみ処分場があった。このごみ処分場は昭和35年から昭和52年までの17年間室蘭市民の生活のごみを処分していた。用途廃止後は市において公園緑地化の考えも有ったが最終的には処分場全体に覆土し事業は終了した。その後、30余年経過する中で、処分場跡地は雑草が生い茂る荒れ地となり環境と景観を損ね、この状態に市民は憂いていた。</p> <p>そこで、室蘭市と市民有志、関係者で対応策の協議を進める中で、市民協働で環境整備をすることとなり、平成21年9月にこのごみ処分場の近隣10町会と自然環境に関心のある団体の5団体で「地球岬街道夢の森づくりの会」が発足した。森づくりはごみ処分場の跡地の一部1万㎡を樹木の植樹場所と憩いの場となる展望広場、駐車場の設備を織り込んだ整備計画を作成した。</p> <p>(実現したい理想像)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎森づくりにより自然環境の大切さが発信できる。 ◎自然遺産的な地球岬とその街道の景観向上に資する。 ◎里山として憩いと安らぎ、そして子供の学習の場となる。 ◎行政と町会、団体、市民との連携は市民協働の向上になる。 |
| NPO法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭 | 室蘭市 | <p>潮見公園の一画に在来の樹木を植樹し、失われていた海岸林と林床植物を復活させ、在来の昆虫や水生生物が生息できるビオトープをつくり、子ども達が自由に遊び、生物を採取し、自然観察ができ場を提供しています。ビオトープ・イタンキでの自然体験を通じて、子ども達に地域の自然環境の大切さ、自然科学の楽しさ、生命の尊さを学んでもらい、持続可能な自然環境・地域社会形成の一助となる活動を行っています。</p> |
| NPO法人 トラストサルン釧路 | 釧路市 | <p>今から38年前に釧路湿原が国立公園に指定された翌年に当会は結成されました。開発の恐れがあった湿原と湿原</p> |

| | | |
|-------------------|-----|--|
| | | <p>周辺の丘陵地を重視し、自然保護地づくりを始めました。市民の皆様の寄付金で土地の買い取りや寄贈によって自然保護地を増やし、現在は82ヶ所679ヘクタールを保護地としています。また荒廃した丘陵地では、緑化活動を行い湿原の水源林としての再生を目指しています。釧路湿原は広大なため、当会の活動を通じて市民や行政の皆様が釧路湿原や周辺丘陵地の自然環境、動植物に優しい土地利用、保全の意識を持つことを目標に活動しています。</p> |
| 森と川のがっこうコロポックル | 標津町 | <p>私たちは、北海道の森を舞台に「森も子どもも、そしてお母さんも幸せに育つ」ことを理念に活動しています。森の豊かさにふれながら、子どもたちが自然の中でのびのびと学び、お母さんたちが心を緩めて笑顔を取り戻す。その循環をつくることを目的に、森づくりと人づくりを重ね合わせた活動を進めています。</p> |
| 森林ボランティア「オホーツクの会」 | 北見市 | <p>森林ボランティア活動を通じて、森林と親しみ・森林に学び・森林の持つ公益的機能の増進を図るとともに、森林・林業に対する自らの意識を高め、共感する仲間の輪を広げる。</p> |
| 帯広の森サポーターの会 | 帯広市 | <p>帯広の森造成開始から50年。市民植樹後長く人の手が入らなかった人工林の一部を、帯広市の委託承認のもと育成、整備等している。開拓前の十勝帯広の森の再生を基本に据え、市民が癒され安全に楽しめる森を目指している。</p> |